

No.83 富山県・舟橋村（シティプロモーション、地域PR）

地域力創造アドバイザー	浜野 耕一氏（A703）
活用分野	シティプロモーション・地域PR （地域ブランディング、メディア活用、効果の把握、評価に取り組む）
活用期間（頻度）	令和7年度～令和7年度（年15日程度）
キーワード	#シティプロモーション #関係人口の拡大 #地域ブランディング #人材育成 #EBPM活用 #自治体DX #デジタル広報 #情報発信力強化 #広報体制づくり #持続可能な広報体制

【目的】

本村は日本一小さな村として、住民同士のつながりを大切にしながら、さらなる交流の広がりや地域の魅力発信力の強化が求められている。こうした状況を踏まえ、住民交流を原点とした地域づくりの取組として、サンフラワープロジェクトを核に地域のつながりを育み、村の魅力を内外に発信することを目的とする。あわせて、効果的な情報発信体制と公式サイト運用を強化し、職員による自走型の広報運用を確立することで、広報力・ブランド力の向上と関係人口の拡大につなげる。

【内容】

- サンフラワープロジェクトを核とした住民交流と魅力発信の推進
住民交流を原点としたサンフラワープロジェクトの企画・展開方針について助言を行い、ひまわりを通じた地域のつながりづくりと、村の魅力を伝えるストーリー設計を支援。
- デジタル広報戦略の構築と自走型運用体制づくり
ニュースレター・プレスリリースの企画支援、公式HP・SNSの運用改善、アクセス解析手法の助言に加え、職員研修を通じてデータに基づく改善サイクルを導入し、職員が自ら運用できる自走型の広報体制づくりを支援。



サンフラワープロジェクト推進委員会

【成果（見込み）】

- サンフラワープロジェクトを核とした住民交流と魅力発信の推進
住民参加に加え、イベント等に村外からの来訪者も訪れるなど交流が広がった。
取組の発信を通して、村の認知度向上と関係人口の増加につながった。
- デジタル広報戦略の構築と自走型運用体制づくり
情報発信がテレビ・新聞・ネット記事での報道につながり、村の認知向上に貢献。
職員による公式サイトのデータ活用・改善運用が定着し、自走型の広報体制が進んでいる。



新規でのメディア掲載例（抜粋）

No.188 鹿児島県大和村（大和村地域力創造DX推進プロジェクト）

地域力創造アドバイザー	浜野 耕一 氏（A703）
活用分野	自治体経営イノベーション・シティプロモーション・地域PR(効果の把握、評価)
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月1回程度）
キーワード	#DX推進 #デジタルトランスフォーメーション #生成AI #AIリテラシー #オンライン申請 #書かない窓口

【目的】

大和村職員が主体となってDXを推進できる体制を整え、業務の効率化、手続きの簡素化、情報共有の高度化を図ることで、地域の魅力発信や人材育成など創造的な取組を推進し、地域力の向上につなげる。

【内容】

- ・現状把握と課題の共有を通じたDX推進方針の整理
- ・職員によるAIやデジタルツールの活用を促進するための学び合い・研修の実施
- ・申請・届出のオンライン化に向けた体制づくりや庁内ルールの検討支援
- ・各部署の改善提案を庁内で共有し、横断的な連携を推進

【成果（見込み）】

- ・職員のスキルアップ及び自走体制の確立
- ・行政手続きの利便性向上及び住民サービスの質的向上
- ・DX化推進に関する庁内横断的な連携強化
- ・庁内業務の効率化、電子申請導入



令和7年10月27日
委嘱式



令和7年11月11日
職員研修